

神戸市職員 経験者採用ガイド



職員採用ホームページ

市政・仕事紹介、プロジェクト紹介、ワークスタイル、試験内容などを掲載しています。



神戸市職員採用X

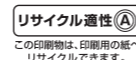
@kobe_saiyou

試験や説明会など、神戸市職員採用に関する情報をお知らせしています。

神戸市人事委員会

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館22階

TEL: 0570-083330 (または 078-333-3330) FAX: 078-333-3314 (神戸市総合コールセンター)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

2024年2月発行

神戸の難問に挑む人、募集。

神戸の難問に挑む人、募集。

時代と人口が呼応するまちづくりとは何か。
デジタルが実現する、次世代の行政とは。
世界にまだないビジネスを、神戸から創るには。

これらの問いは、前例もなければ、時代と共に正解も変わります。
しかし、この神戸という街は、
あらゆる文化を取り入れながら
いつの時代も新しい答えを見つけ成長を続けました。

今度は、私たちの世代の番です。
未来の神戸をつくる新しい答えを、
一緒に探しませんか。

経験者採用、拡大中。

1 新卒採用と経験者採用の比率を5:5に

新卒一括採用中心の採用方法から経験者採用を拡大し、
即戦力となる人材を広く募集します。

2 通年実施

毎月(1日~15日)受付。試験実施は年4回。
自身のタイミングでの受験が可能です。

3 特別な公務員試験対策不要

試験内容は、適性検査・1次面接(WEB)・2次面接(対面)です。

4 対面面接は東京でも受験可能

関東にお住まいの方でも受験しやすくなりました。

Q.

人口の減る日本ではなく、世界の市場で活路を見出す方法とは？



経済観光局ファッション産業課
平成30年度入庁
(令和5年度時点)

MUROSONO TAKAMASA
室ノ園 隆政

神戸出身の彼は、民間企業に就職すると大阪と東京で営業の仕事に精を出した。6年前に神戸市役所に転職。仕事は驚くほど変化したという。

Q. 転職から6年目ですが、市役所でどんな仕事をしましたか？

神戸市にある公園で民間企業などがイベントをするときに、利用許可を出すのが最初の仕事でした。2年後に区役所に異動。一つ目の職場では残業もそれなりにありましたが、二つ目の職場は、日中は忙しかったものの、定時には仕事が終わる職場でした。子育てに手を取られる時期と重なったので、配慮してもらえたのだと思います。次が今のファッション産業課です。ここでは靴、真珠、スイーツ、日本酒といった神戸の地場産品の会社を側面からサポートする仕事です。前職では会社の利益という明確な目標がありましたが、市役所の仕事はいずれも目標が掴みづらいモノばかりです。ただ、私には今のほうが向いていると感じています。

Q. 仕事でやりがいを感じることはありますか？

神戸市では子育て支援に力を入れています。そんななかで保育所の待機児童を減らすために、公園に保育所をつくれないかという大胆な発想が市役所で生まれました。ですが、そんな前例はありません。私に任せられたのは、どのような要件を満たせば、公園の敷地に保育所をつくってもいいのかという規定づくり。公園を管理している現場の職員たちからは、保育所の子どもと公園の利用者の間でトラブルが起きたらどうするのかという意見もあり、かなり苦労しました。しかも保育所が認可される期日があるので、スピードが求められる仕事でした。やがて3か所の保育所が完成。今は電車の窓からその保育所で遊ぶ子どもたちを眺めたりします。そんなとき、変な話ですが、私が工事をしたわけではないのに、この保育所をつくったのは「私」だと感じてしまうひと時ですね。

Q. 神戸の「難問」とは何だと思えますか？

今の仕事が「難問」です。日本全体の人口がどんどん減っていくなかで、神戸の地場産業はどこへ進んでいるのか？ ほうっておくと右肩下がりのまま、やがては座して死を待つこととなります。東京で働いていたときに、東京と神戸との差が広がっていくことにショックを受けました。でもそれが、地元で働いて貢献したいと思った原動力です。私が担当している日本酒は、欧米だけでなく、アジアなどでも流通していて、都市部ではスーパーで買えることも多いです。神戸の酒造メーカーも、白鶴や菊正宗など大手を中心に、海外をにらんだ販売戦略を進めてきました。日本酒の輸出金額は10年前と比べると5倍に増えているのです。国内市場は厳しいので、そこで取り合いをするのではなく、知恵と工夫をめぐらせた戦略をもって動くべきだと思っています。

Q. 自治体への転職を考えている民間企業の方へメッセージを

神戸から西宮にかけての「灘五郷」は、国内トップシェアになる日本酒の1/4を生産。神戸市は一人当たりの公園の面積が全国の政令市でトップ。神戸ファッション美術館は「ファッション」をテーマにした日本初の公的な美術館。そんな知られざる日本一や日本初をたくさん持つ大きな自治体で仕事ができるのは魅力です。一方で、区役所で生活保護に携わったとき、自分のなかにある当たり前が壊れました。子どもは親に食べさせてもらい、大学に行くお金も出してもらおうのが当然と覚悟していました。ところが、そうではない人たちがたくさんいたのです。自分の知らない世界を知っていくことは人生の大きな糧になると思います。

キャリア紹介

- 入庁前
接着剤メーカー
ホームセンター等への営業
- 平成30年度
建設局公園部管理課
都市公園の許認可、ノエビアスタジアム神戸の管理
- 令和2年度
中央区生活支援課
生活保護のケースワーカー
- 令和5年度
経済観光局ファッション産業課
日本酒の振興支援、神戸ファッション美術館の管理



Q.

課題から見つける まちづくりのヒントとは？



こども家庭局家庭支援課

令和4年度入庁
(令和5年度時点)

NAKAHARA KUMIKO

中原久美子

落ち着き払った彼女は、高校も大学も神戸だという。前職のメーカーは、明石勤務だったそうだが、2年前に神戸市に転職、再び神戸へ。

■ 入庁前
計量機器メーカー

海外子会社の販売管理、海外への販売

■ 令和4年度
こども家庭局家庭支援課

障害児の福祉及び児童の発達支援に関する業務、
神戸市療育センターの調整

キャリア紹介

Q.

あらゆる人にとって 良いまちづくりとは何か？



建設局駅前魅力創造課

平成29年度入庁
(令和5年度時点)

AKAIKE NAOKI

赤池直樹

大学院を一時休学してインドで働いたという異色な経歴を持つ彼は、長田区役所で借りたという謎の猫除けグッズを持ってインタビュー場所に現れた。自宅を試したのだという。チャレンジ精神が旺盛なのは間違いない。

■ 入庁前
建設コンサルタント

土地区画整理事業に関連する道路などのインフラの計画や設計

■ 平成29年度
建設局道路計画課

高速道路整備に関する関係者調整

■ 平成31年度
建設局西建設事務所

道路や河川改修の設計、工事監督

■ 令和4年度
建設局駅前魅力創造課

駅前リノベーションの計画、設計

キャリア紹介

Q. 市役所で今後、どのようなキャリアを積んでいきたいですか。

前職では計量機器メーカーで、海外への販売を担当していました。子会社と仕様や生産の打合せを行い、適切なタイミングで市場に合う製品を届ける業務でした。

ところが神戸市役所での仕事は、障害児支援施策の推進と療育センターの調整業務です。療育センターは、障害を持った子どもたちの診察や訓練を行う診療所と通園の療育をおこなう児童発達支援センターという福祉の機能をもった施設です。前職とまったく違う種類の仕事でしたが、前職で培ったスピード感や調整力、傾聴力などをフル活用して取り組みました。その他にも、有識者会議の運営、契約事務、市会や予算編成など、市役所ではどこに配属されても必要な知識を学べたので、最初の職場としては、とても良かったと感じています。

次は、神戸らしい仕事をしたいですね。例えば、神戸港に海外からの貨物船やクルーズ船を誘致したり、米国から活きのいいベンチャー企業を誘致したりする。これまでの経験を存分に活かせる仕事もやりたいと考えています。



Q. 今の仕事はどんなときにやりがいを感じますか？

今の仕事をするまで、発達障害を持った子どものことや福祉制度を全く知りませんでした。仕事をしてみると、支援制度が医療・保健・福祉・教育など様々な機関にまたがり多種多様であり、とても分かりにくい。仕事に必要な知識を勉強するのも大変だと感じました。市民にとっても、子どもの発達の相談先や支援までの流れが分かりにくく、また複数の分野にまたがっていることもあり、支援者にも同様の課題があります。その子どもの特性を理解して周囲の関わりや環境を整えることで問題なく生活できることもあるそうなので、しっかりと早期支援に結び付けられるのが鍵を握っています。

私の業務の一つには、それぞれの機能、相談窓口や支援制度について、市民、支援者へ分かりやすい広報をすることがあります。その一つとして、神戸市内の地域の障害児通所支援を行っている事業者者に提供サービスや専門職を聞くアンケートを配布して、各区ごとにまとめた「障害児通所支援事業所ガイド」を作成し市HPに公開しました。今までは、子どもに合った支援サービスが受けられる事業所について、保護者や支援をしている人たちが、口コミで知ったり、現場に足を運んで情報収集しないと分からない課題がありました。すると、「こういうのができるのを待っていた」と言われるなど、かなり評判がいいのです。支援に繋がっていると実感でき、頑張って作って良かったと思っています。



Q. これまでの仕事で「難問」に挑んだことはありますか。

近年、発達障害への社会の理解が広がっていることもあり、専門機関への相談が増えて待機期間が長くなっています。私が担当している「療育センター」の診療所は障害児の診察をしているのですが、申し込みをしてから診察までの待機期間も長期化傾向にありました。

保護者の立場に立つと、本当に発達障害なのだろうかと不安な毎日を送ることになるので、これを何とか短縮する方法はないかという検討がはじまったのです。

そこでいきなり診療所に申し込んで待つのではなく、まずは保健師・心理士・福祉職からなる「こべっこ発達専門チーム」が家族からの相談を受け、面談や簡易な発達検査をふまえて、お子さんへの接し方や支援先を紹介する仕組みをつくりました。2023年10月からモデルの一部エリアで相談受付をスタートさせたところ、診療所を待つ期間は短縮できつつあり、家族の不安軽減にもつながっています。この手の新規事業の立ち上げに関わったのは初めてで、かなりのスピード感を持って、情報収集し関係者と調整していくことは、私にとって「難問」でした。



Q. 民間企業と市役所との違いを教えてください。

まだ2年しか市役所での経験はないのですが、本当に色んな裁量ある仕事を任せてもらえています。民間企業だと自分の専門と守備範囲がある程度決まっているのですが、市役所だと基本的な方針はあるのですが、ドーンと大胆に新たな仕事に取り組むことがあります。その都度、猛烈に調べ上げて短期間に知識を深め着実に業務を進めていくのは、とてもチャレンジングな仕事だと感じます。風通しのとてもよい職場なので、いつでも上司や先輩に相談し意見交換ができる環境だからこそ、大胆にチャレンジしていいのだと感じます。例えば、私が担当している3つの拠点で、新しいシステムを導入する仕事を任せられました。ですが私にはITシステムの知識もないのに、どうやって仕様書を作成するのかわからず、個人情報を扱うときの必要な手続きも検討しなければなりません。もちろん私自身が初めての体験であることを前提にしています。なので、上司や同僚に助けを借りて、一步一步ずつ進めていくというやり方です。ただこの方法であれば、民間企業にいた頃より、新しいことにチャレンジができ、大きなことに挑戦しやすい職場なのだと感じています。

Q. 自分自身のキャリアプランをどう描いているのか教えてください。

大学と大学院で、都市や公園、広場における空間をどうつくるのかという「ランドスケープデザイン」という分野を勉強しました。いまは神戸駅や兵庫駅の駅前を、将来どのような空間にするのか検討するのが仕事。勉強していた分野と重なってうれしいのですが、今後異動することがあるのなら、例えば広報の仕事のようにこれまでとは全く異なった分野の職場を希望しています。というのは、駅前の再整備計画を住民などに説明するとき、見せ方がとても大事だと感じました。それ次第で、良い反応をもらえたり、逆に誤解をさせたりするからです。広報部門で見せ方をしっかり勉強してノウハウを蓄積できれば、次に自分の好きな「ランドスケープ」の仕事をするときに役に立てられるのではと考えています。



Q. 今の仕事はおもしろいですか。いつそんなふうを感じるのでしょうか。

とてもおもしろいのですが、逆にしんどい点もたくさんあります。というのは、良くも悪くも目立つ仕事だからです。駅前のバス停をどうするとか、駐輪場をどこに置くなどは、その地域の人たちの生活をダイレクトに変化させます。使いやすくなったと言われたり、逆に不便になったとお叱りの声を耳にしたりして、評価の明暗がはっきりするのが特徴です。それが、おもしろくもあり、ちょっと怖い部分でもありますね。大学院を出たあとに、建設コンサルタントで働いていたことがあります。そのときは自治体がお客さんで、区画整理や再開発のお手伝いをする仕事でした。今と真逆の立場です。神戸駅や兵庫駅の周辺をどうするというアイデアを最初に考えるのが私で、それを上司にも相談しながら、建設コンサルタントにもサポートしてもらいながら、最終的な絵を描いていくのですが、最後まで自分たちで決められます。最初と最後をしっかりと押さえられる今の仕事は、達成感という意味ではこの上ないです。



Q. あなたにとって神戸の「難問」は何だと思いますか？

神戸駅の駅前をどうするのかの方向性を検討するときに、「近代建築の伝統ある駅舎」「湊川神社の最寄り駅」というキーワードの段階だと、誰もがほぼ同じものを思い浮かべます。ところが、それを踏まえた駅前広場のデザインを考えようという形で示すと、10人いれば、10通りの案が出てくるのです。どれが正解で、どれが不正解というのがない。これが空間づくりの難しいところ。そんななかで、住民たちに完成予想図で説明しながら話を聞きます。さらに周辺の関係者とうまく調整をして、工事を経て駅前広場が完成する。でも、その段階で、とても良くなったねと言ってももらえなければ、仕事としての合格点はもらえません。結構な「難問」だと思いつながら、仕事に挑んでいます。



Q. 前職の建設コンサルタントと市役所での仕事の違いを教えてください。

建設コンサルタントのときは、どう説明したら良いのか表現しにくいのですが、すごく直線的に仕事を捉えていたと思います。計画を立てて設計していく段階で、請け負っている範囲の中で、その先にある施工のことを常に考える思考回路に陥っていました。逆に市役所の立場で仕事をする、もっと広い視野を持てるようになりました。駅前広場であれば、何よりそこを使う住民や近くでお店をしている人たちが、どう使ってくれるだろうか、完成するまでの間もワクワクしながら待っていているのだろうかを気にするようになりました。あと、両方の立場を経験してよかったこともあります。それは、コンサル側がどんな過程を踏んで絵を描いてくるのか分かるので、キャッチボールの数が少なく、手早く仕事が進められていることです。今は、前職の経験を最大限活用しながら、より大きなスケールで業務できており、非常に楽しいですね。

WORKSTYLE

ワークスタイル

神戸市の働き方改革の推進

働きやすい市役所が暮らしやすいまちをつくる

神戸市役所では、徹底した市民目線で手続きの簡素化やICTを活用した業務の効率化を進め、それによって生み出された時間やマンパワーを、より付加価値の高い業務に充てることにより市民サービスの質の向上に繋げていきます。



勤務条件・福利厚生はこちら



フレックスタイム制

柔軟な勤務形態の選択を可能にするフレックスタイム制を導入。フレックスタイム制の利用により、始業時間を午前7～10時、終業時間を午後3時～午後10時までの中から自由に選択することができます。



育児休業取得の推奨

育児休業に関する職員の不安や疑問、取得の意向などを上司が聞き取り、アドバイスを行うことで、性別にかかわらず誰もが気軽に育児休業を取得できる職場環境づくりに取り組んでいます。



地域貢献応援制度

職員が、自身の知識・ノウハウ等を活かして地域の課題解決に向け取り組むことなどを目的に、社会性・公益性の高い地域貢献活動に、報酬を得て従事する場合の取扱いを独自に決めました。



上司による仕事と子育ての両立支援

子どもが生まれる職員が、職務における能力発揮・キャリア形成と家庭における子育てとの両立をデザインできるように、上司が当該職員を積極的に応援する取り組みです。

SUPPORT

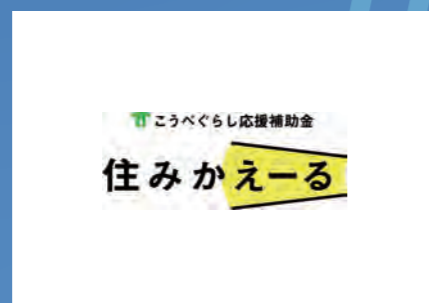
サポート

神戸市では転入予定者に向けて、様々な施策をご用意しております。



くらし情報サイト「こうべぐらし」

くらしに関する情報、エリアの紹介、各種支援情報などを掲載。こうべぐらしコンシェルジュが移住相談も受け付けています。



こうべぐらし応援補助金「住みかえーる」

親世帯との近居同居や郊外団地への住みかえなど、若年夫婦・子育て世帯の住みかえを応援します。



子育て応援サイト「こどもっとKOBE」

目的や年齢などから情報を簡単に検索でき、専門家によるコラムや、施設やサービスを利用した方の声など、子育てに役立つ情報やコンテンツが充実しています。



HIRING PROCESS

試験情報

年齢要件 25歳～39歳（試験申込の翌年度4月1日時点）

受付 毎月（1日～15日）受付

実施回数 年4回

試験内容 適性検査 + 面接2回 ※公務員試験対策不要

試験の流れ

予備審査

- ・適性検査(SPI3)
- ・エントリーシート

第1次試験

- ・面接(WEB)
- ・資格加点

第2次試験

- ・面接(対面)

面接場所 1次:WEB
2次:神戸会場 または 東京会場

詳細は試験案内をご覧ください。

試験案内はこちら

